

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	3	文化・スポーツを通じて市民が元気なまちにします

施策	3	スポーツ活動が活発なまちにします	担当部(統括部)	生涯学習部
----	---	------------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	誰もが身近なスポーツ施設で手軽にスポーツを楽しめるようになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	スポーツを通じて人と人とのふれあいができています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標											
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
スポーツ施設の稼働率	目標	—	—	—	70.5%	71.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
	実績	70.4%	71.5%	70.1%	75.70%	80.00%					
各種スポーツ教室の延参加者数	目標	—	—	—	71,000人	72,000人	73,000人	74,000人	75,000人	75,000人	78,000人
	実績	74,720人	75,965人	70,697人	72,872人	71,815人					

【施策の展開】 ◎は重点的な取組み

◎市民と協働のスポーツ振興							平成26年度事業費計 7,648千円
スポーツ推進委員協議会、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、総合型地域スポーツクラブなどスポーツ関係団体の自主的な活動を支援します。また、各地区実行委員会を中心に運営している地区市民体育祭の活動を支援します。							
平成26年度事業	◇スポーツ振興事業1,113千円・◇地区市民体育祭実施補助事業6,535千円(文化スポーツ課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度 平成28年度		後期終了年度 平成32年度	
計画	団体の事務局を団体内に置き、自主運営ができるよう指導助言	団体の事務局を団体内に置き、自主運営ができるよう指導助言	団体の事務局を団体内に置き、自主運営ができるよう指導助言	各種団体は事務局を団体内に置き、自主運営ができるように調整	各種団体は事務局を団体内に置き、自主運営ができるように調整	新たなスポーツ関係団体の育成	
取組実績	前年度に引き続き、書記事務や会計事務が行えるよう指導を行った。						
成果	会計事務について担うことができる団体が増えた。						
次年度課題	団体が自主運営できるよう指導していく。						
計画	地区体育祭の充実に向けて支援	地区体育祭の充実に向けて支援	地区体育祭の充実に向けて支援	地区体育祭の役員などに対し、スポーツリーダー養成講座の補助制度を周知	地区体育祭の役員などに対し、スポーツリーダー養成講座の補助制度の活用を図る	地区体育祭の役員などスポーツリーダーの研修を実施	
取組実績	地区体育祭の中心となるスポーツ推進委員を2人補充した。						
成果	地区体育祭運営体制の強化を図ることができた。						
次年度課題	スポーツ推進委員の人数の地域間格差是正と定数確保を進めるとともに、資質の向上に努める必要がある。						
計画	正式発足された総合型地域スポーツクラブの活動を支援	総合型地域スポーツクラブの活動を支援	総合型地域スポーツクラブの活動を支援	総合型地域スポーツクラブの活動を支援	総合型地域スポーツクラブの活動を支援	総合型地域スポーツクラブの活動を支援	
取組実績	総合型地域スポーツクラブの事業を広報せつにつに掲載した。新たな教室を開催できるよう、講師を紹介した。						
成果	総合型地域スポーツクラブがNPO法人化した。						
次年度課題	総合型地域スポーツクラブが安定経営できるように支援していく必要がある。						

◎スポーツリーダーやコーディネーターの養成						平成26年度事業費計 3,268千円
スポーツや健康に関する専門知識の習得を促進し、総合型地域スポーツクラブのリーダーやコーディネーターを養成します。						
平成26年度事業	◇スポーツ教室振興事業3,268千円(文化スポーツ課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	総合型地域スポーツクラブとスポーツリーダーやコーディネーター養成方法について協議	スポーツリーダー養成講座の補助制度について、他市事例を研究	スポーツリーダー養成講座の補助制度の創設に向け、検討	スポーツリーダー養成講座の補助制度を創設	スポーツリーダー養成講座の補助制度の周知を図るとともに、スポーツリーダーを養成	中学校区単位でスポーツリーダーやコーディネーターを組織化
取組実績	生涯学習大学スポーツ健康学部の廃止以降、全く進んでいない。					
成果	総合型地域スポーツクラブとの協議ができなかった。					
次年度課題	スポーツ推進委員等、総合型地域スポーツクラブ以外への働きかけも検討していく必要がある。					

◎スポーツ環境と施設の整備						平成26年度事業費計 197,551千円
利用者が常に安全で快適に利用できるようスポーツ施設を整備・改善するとともに、より利用しやすい運営をめざします。また、市内小中学校体育施設の開放に加え、国、大阪府、市内事業者などが所有するスポーツ・レクリエーション施設の開放をさらに進めるため、働きかけます。						
平成26年度事業	◇体育施設維持管理事業29,441千円・◇温水プール管理事業79,306千円・◇学校体育施設開放事業3,514千円・◇体育施設管理事業43,700千円・◇屋外体育施設管理事業27,031千円・◇スポーツセンター管理事業14,559千円(文化スポーツ課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	体育設備、器具を計画的に改修	体育設備、器具を計画的に改修	体育設備、器具を計画的に改修	スポーツ施設の規模に応じた設備の整備	スポーツ施設の規模に応じた設備の整備	スポーツ施設の規模に応じた設備の充実
取組実績	規模は様々なながら、18の修繕工事等を実施した。					
成果	不具合による緊急補修が多いが、鳥飼体育館屋根防水工事については、計画的な修繕ができた。					
次年度課題	十分な予算を得られないなか、計画的な修繕と緊急の修繕が両立できるよう、検討・調整する必要がある。					
計画	新たなスポーツ種目導入や施設利用方法の検討	新たなスポーツ種目導入や施設利用方法の検討	指定管理者の公募に伴い、新指定管理者と施設運営について協議	新指定管理者との協議を踏まえた施設運営を開始	27年度実績を踏まえ、施設運営を検証	運営方針の評価
取組実績	利用意欲を向上させるためのハード整備について検討した。					
成果	各施設の稼働率は、年々高くなっている。					
次年度課題	ハード面からも利便性が上がるよう、設備を充実させる必要がある。					
計画	国や府、民間の各種スポーツ施設が利用できるように要請	国や府、民間の各種スポーツ施設が利用できるように要請	国や府、民間の各種スポーツ施設が利用できるように要請	国や府、民間の各種スポーツ施設が利用できるように要請	国や府、民間の各種スポーツ施設が利用できるように要請	スポーツ施設の拡充を進めつつ、施設運営について評価
取組実績	国が管轄する、淀川河川敷への体育施設設置について働きかけを行った。新設される府立摂津支援学校の施設開放への要望を行った。					
成果	府立摂津支援学校の開校後、グラウンド施設が開放される見通しがたった。					
次年度課題	引き続き、利用可能な体育施設の拡充に努めていく必要がある。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	公共施設予約・案内システムの周知	公共施設予約・案内システムの充実・周知	公共施設予約・案内システムの充実・周知	公共施設予約・案内システムの充実・周知	公共施設予約・案内システムの充実・周知	公共施設予約・案内システムの充実・周知
取組実績	体育施設への掲示や施設予約抽選会でのアナウンス等、システムの導入を宣伝した。					
成果	システムを利用する団体が増加している。					
次年度課題	公共施設予約・案内システムの周知に努める。					
計画	三宅・味舌スポーツセンター体育館の耐震診断を実施	—	—	—	—	
取組実績	三宅・味舌スポーツセンター体育館の耐震診断を実施した。					
成果	耐震補強工事が必要であることがわかった。					
次年度課題	工事期間中の代替施設の検討が必要。					

〇スポーツに親しむ機会の充実	平成26年度事業費計 6,927千円
----------------	-----------------------

体育協会と連携し、市長杯総合スポーツ大会や体育協会杯など各種スポーツ大会を開催するとともに、個々のレベルや年齢に応じた各種スポーツ教室を開催します。またスポーツ推進委員協議会と連携し、誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツの普及を図ります。

平成26年度事業	◇市長杯総合スポーツ大会事業1,615千円・◇市民マラソン大会事業1,600千円・◇スポーツ教室振興事業3,268千円・◇市民ニュースポーツのつどい事業144千円・◇全国大会参加補助事業300千円(文化スポーツ課)
----------	---

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	年齢やレベルに応じ、参加者が楽しめるスポーツ大会の開催に向け協議、調整	体育協会加盟団体に対し、各種スポーツ大会の年齢やレベルに応じた部門を設置するよう要請	年齢やレベルに応じ、参加者が楽しめるスポーツ大会の拡充	各種大会で、年齢やレベルに応じた部門の拡充	各種大会で、年齢やレベルに応じた部門の拡充	どの大会にもレベルや年齢に応じた部門を設置
取組実績	総合型地域スポーツクラブがラージボール卓球大会、スポーツ推進委員がキンボール大会とゲートゴルフ大会、レクリエーション協会がソフトバレーボール大会とインディアカ大会を開催した。					
成果	市内外から老若男女問わず多くの人が参加し、スポーツに親しんだ。					
次年度課題	スポーツ大会やスポーツ教室を開催するとともに、参加者の拡大について検討する。					
計画	キンボールの自主グループ化を目指し参加者層の拡大を図る	キンボールを自主グループ化し、新たな種目を導入	新たな種目の教室を開催	新たな種目の普及	新たな種目の普及	ニュースポーツを楽しむ団体による大会の開催
取組実績	キンボールとゲートゴルフのニュースポーツ教室と大会を開催した。キンボールサークルができ、自主活動が行われた。					
成果	キンボールサークルの活動が活発となり、他市の大会等にも出場した。					
次年度課題	キンボールサークルの支援と新種目の導入。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

摂津市総合型地域スポーツクラブ						平成26年度事業費計 3,268千円
スポーツに親しむ動機づけと地域のコミュニケーションの場づくりを目的として設立します。						
平成26年度事業	◇スポーツ教室振興事業3,268千円(文化スポーツ課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	総合型スポーツクラブの活動を支援	総合型スポーツクラブの活動を支援	総合型スポーツクラブの活動を支援	総合型スポーツクラブの活動を支援	総合型スポーツクラブの活動を支援	各種スポーツ教室や講習会を開催
取組実績	総合型地域スポーツクラブの事業を広報せつにつに掲載した。新たな教室を開催できるよう、講師を紹介した。					
成果	総合型地域スポーツクラブがNPO法人化した。					
次年度課題	総合型地域スポーツクラブが安定経営できるように支援していく必要がある。					
計画	総合型地域スポーツクラブとスポーツリーダーやコーディネーター養成について協議	スポーツリーダー養成講座の補助制度について、他市事例を研究	スポーツリーダー養成講座の補助制度の創設に向け、検討	スポーツリーダー養成講座の補助制度を創設	スポーツリーダー養成講座の補助制度の周知を図るとともに、スポーツリーダーを養成	各地域のスポーツリーダーやコーディネーターがスポーツイベント等を運営
取組実績	総合型地域スポーツクラブとの協議に至らなかった。					
成果	総合型地域スポーツクラブとの協議に至らなかった。					
次年度課題	総合型地域スポーツクラブへの働きかけに加え、スポーツリーダー養成講座の補助制度の創設に向けた研究が必要である。					

せつつ生涯学習大学による人材育成						平成26年度事業費計 — 千円
スポーツ健康学部において、市内高等学校教職員、大学教授、プロスポーツ選手などを講師陣に迎え、スポーツリーダーやコーディネーターを養成します。						
平成26年度事業	—					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	—	—	—	—	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						